



令和7年度 校長室だより 第2号
令和7年(2025年)12月23日
発行者:小松島中学校 西山伸二

南中との防災教育合同研修会

10/16(木)に、本校視聴覚室において、講師として宮城県から宮本 約氏(元石巻市立住吉小学校教諭)をお迎えし、東日本大震災時の避難所運営についてのお話をいただきました。お話の中で、3日間はどこからもほとんど援助を受けることができず、避難所にいた人たちだけで乗り切らねばならなかったことや、ご自身の家族の安否すら1週間、確認すらすることができなかったことなど厳しい状況が伝わってきました。心に残ったのは、「避難所の社会というのは、被災前の地域社会とイコールだ。」という言葉でした。

“内申点”について

「内申点とは何ですか?」という質問が時々あります。今回は、そのことについて、選抜要項を元に少し説明をさせていただきます。いわゆる「内申点」とは、調査書に記載されている内容となり、次のように説明されています。

＜「令和8年度 徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項 徳島県立特別支援学校高等部生徒募集選抜要項」より抜粋＞

(第4 1 調査書の扱い)

- (1)調査書は、学力検査の成績と同等に扱う。
- (2)調査書中の「各教科の学習の記録」の評定は、学力検査を実施しない、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の4教科を重視する。
- (3)「各教科の学習記録」以外の記載事項に津しても、選抜の資料として活用する。

(第6 2 合格者選抜の手順)

(1)第1次選考

調査書の「各教科の学習の記録」の評定が、上位から募集人員の80%以内にいる者で、かつ、学力検査の特典(傾斜配点を実施する大学科にあっては、傾斜配点実施後の得点。以下同じ。)が、上位から募集人員の80%にいる者について、面接等の結果も資料とし、総合的に選考する。

(2)第2次選考

第1次選考の対象者以外の者全員について、「各教科の学習の記録」の評定と学力検査の得点を同等に見て、面接等の結果も資料とし、総合的に選考する。「各教科の学習の記録」の評定と学力検査の得点を同等にみることにについては、受検者全員についての両者の相関表(様式第24号、別記2、34ページ)を用いて、その適正をはかるものとする。

なお、評定の記載がない者については、記載されていないことのみで理由で選考の対象から外すことのないように配慮する。

(徳島県教育委員会 → 高等学校・中学校入学者選抜情報からアクセスできます)
URL:<https://nyuushi.tokushima-ec.ed.jp/R8sennbatuyoukou2>

わかりやすく言うと、次のようになるかと思います。

調査書の扱いについて

- 当日のテストの点も、調査書も同じように見ます。
- 「各教科の学習の記録」(通知表にある評定)は特に、実技教科(音・美・体・技家)を重視します。
- 「各教科の学習の記録」だけでなく、他の記載事項も参考にします。

選考(可否)の決め方

(第1段階)

・「各教科の学習の記録」の評定、当日のテストの成績が両方とも上位80%に入っている場合は、面接等も資料として総合的に判断します。

(第2段階)

・「各教科の学習の記録」の評定、当日のテストの成績のいずれかが下位20%に入っている場合は、相関表を用いてその適正化をはかり総合的に判断します。

表 関 相

学 校 名	高等学校	校
课 程 名	全 日 制 · 定 時 制	
学 科 名		科・類